

# 花嫁は 深海大鳳 ちゃん



花嫁は深海大鳳ちゃん





大鳳!!



帰らなきゃ

## 前作「大鳳が深海棲艦に墮ちタラ」あらずじ

「今回の作戦を終えたら——私と結婚してくれ」  
提督との結婚を控え最後の出撃へ赴く大鳳。  
しかし、鎮守府にもたらされたのは非情にも  
「大鳳轟沈」の報だった。

それでも生還を信じる提督の願いが通じたのか、  
はたまた大鳳の強い想いが届いたのか…  
彼女はとある“約束”のため提督の元へと帰還を果たす。

しかし——還って来た大鳳の姿は深海棲艦へと成り果てていた。  
そんな姿になってまでも帰還してくれた事に  
不安を抱きつつも喜ぶ提督だったが…





大鳳...ただいま  
帰投しました!!

提督!

たいほお  
おおおう!!

ちよっ!?  
どうしたん  
ですか!



シタじゃ...  
ないですか

だって...  
約束



...悪い夢を...

大鳳が轟沈して  
しまう夢を...  
見たんだ

提督ったら...  
私が帰らないはず  
ないでしょう?



ダカラコンナニ  
ナツテマデ

帰ッテキタ…  
ノニ…

ドウシテ  
抱イテテクシナ  
カッタノ…?



夢…?



うわあ  
ああ  
ああッ!!!



なんたる  
失態!!

大鳳!!



いや…

最後の  
姿だけは現実だ  
大鳳の前で  
失神するとは—



何...  
してるんだ?

おミソ汁

...そんなこと  
言ってたな  
そういえば



そ それより  
昨夜はすまない

途中で  
気を—

いい  
いい



言葉も片言  
記憶も曖昧……

しかし料理の手際は  
不思議と様になっている  
……が、それはさておき



約束しないこと  
シヨウとした……

大鳳が  
ワルイ

その格好は  
反則すぎる……!!



約束……?

テイトクは  
そこ座る

あはら



それより  
こっちの具の方が  
気になってしかたな  
す、思、い、な



味…  
よくわカラない

具も  
テキトウ  
いい？

あ、ああ…



…じゃあ  
約束  
終わったカラ

大鳳  
海ニ帰る

え!?



くろ



何言ってるんだ!?  
折角無事帰って  
きたのに

第一約束が  
なんなのか  
私はまだ…

無事じゃ  
…ない



無事じゃ  
ない……

だって

テイトクが  
怖がってる

怖がらせ  
たくない……

このまま  
一緒に居たら  
きつとまた

怖い思い  
……させる

から



昨夜のことは  
弁解の余地もない……  
すまなかった

本当に自分が  
情けない……!!

しかしだからといって  
大鳳が怖いわけでは  
断じてない!!

あれは想定外の事態に  
頭が追いつかず  
驚いてしまっただけなんだ

大鳳なら  
触手が生えようが  
ナニが生えようが  
**丸ごと愛せる!!**

×11?

それでも——  
君の帰りたい場所は  
本当に海の底かい?

帰る……場所……

海の底は……  
寒いからイヤ



テイトクの  
傍がいいい…



どうした？

あ…

昨夜と違って随分  
消極的じゃないか

あ…

あ…

あ…

あ…





て……トク  
待っ……あ、あ♡

ふ、あつ♡



っ……あ♡

それが  
感じてる証拠  
なんだろう？

我慢しなくて  
いいんだぞ

やだっや♡

出しちゃ  
やっやあ

て……とく、それ……すると、  
いや……いや  
出したく……ない……

ぬふ……



そうだな  
折角だからコレを  
使ってみようか

え...



おお：  
改めて見ると  
中々エロいな

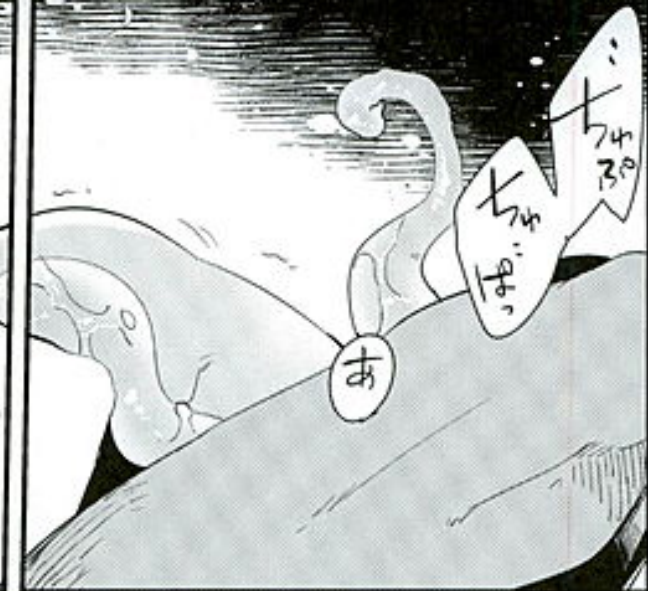
こんなモノが  
大鳳の中に収まって  
いたと思うと...

や...

は...

あ...  
う...  
あ...

見な...  
いぞ



吸いながら  
ねぶってこらん

いい子だ

どちらが先に  
果てるかな？



自分の触手で  
こんなにおま○こ  
ぐちゃぐちゃにして…

だけど手加減は  
いけないなあ

凄いや大鳳…っ  
まるで異種姦を  
眺めてる気分だ





ほら！  
触手はまだまだ  
挿入るぞ！！



ち○ほを唾えた  
喉奥も急に  
締めりだした！



気持ちイイか？  
自分の触手で  
イクのか？大鳳

よし私もイこう！  
そのまま奥で  
受け止めるんだ！！



カ  
ン  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン  
カ  
ン  
カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

カ  
ン

はっ

可愛いよ大鳳…

はっ

上気して  
火照った柔肌に

粘液まみれの  
触手すらその  
美しさを引き立てる

だが惚けるには  
まだ早いよ

本番は  
これからだろう？

はっ

ハッ

あ

う…♡





コワイ…  
なに、するか  
わからぬ

い、いますごく  
敏感…  
って

だっ  
だめ…



それに  
どれだけ待ったと  
思ってる？

いったばかりで  
敏感なのは  
お互い様だよ

再び  
この瞬間——

大鳳と  
繋がる日を!!





こんなに  
締め付けて・  
いけないま○こだ

そんなに欲しければ  
たつぷり膣内に  
くれてやる!!

むしろ  
何度でも  
しよう!!

毎日私と  
子作りしよう!!

子供は何人  
居てもいいもの  
だからな!!!



このまま逆さに  
種付けするぞ!!

子宮で  
しっかり  
受け止める!!!

はひっ

はいいッ♥  
たいほーは…  
提督とこづくりしまふっ

てーとくの  
子種でイクッ♥  
イきますッ









…違った…ん

です、ね…

…ああ



肝心の「毎日」  
…が抜けているな

再び目を  
覚ました  
彼女は――

片言に  
戻っていた  
……



彼女自身の努力によって  
日常に差し支えない  
程度まで回復した

提督

それでも  
その後大鳳は

何故あの一瞬だけ…  
かつての大鳳に  
立ち戻れたのかは不明だが



ゴハン  
デキた

キリ良かったら、  
来て…くだ、サイ?

ただし

絶望的な味覚音痴は  
深海棲艦ならではの  
特性かもしれない

水み  
お持ち  
して



Kancolle Unofficial Fanbook#7  
20151231 KAMISHIKI

